

令和7年度

実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード)

37-FE260-10-56-01

建設工事名

令和7年度(債務)大洲五丁目地内水路改修工事

路線河川名

建設工事箇所

藤枝市大洲五丁目地内

建設工事金額

工期

令和8年11月16日限り

週休2日推進工事補正(週単位(完全週休2日))

建設工事概要	施工延長	24.1	m
	現場打水路工	4.5	m
	集水樹工	1	箇所
	暗渠工	21.5	m
	舗装工	160	m ²

歩掛・単価適用年度

令和8年2月

基本単価

令和8年2月

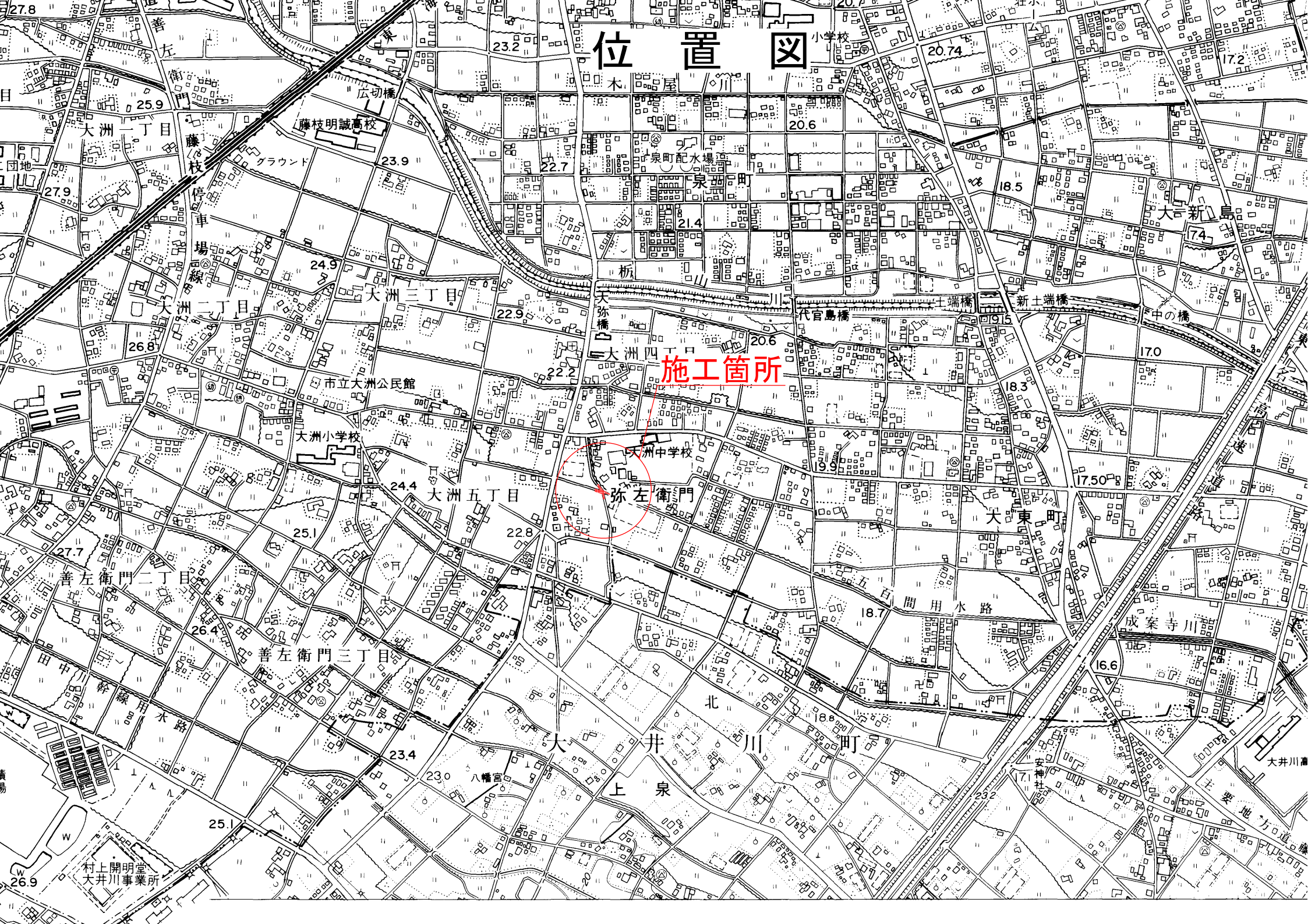
地区コード

220地区

起終点指定

⇔

位置図



工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 道路改良					
	式	1			
-- 道路土工					
	式	1			
--- 残土処理工					
	式	1			
---- 残土運搬処理 第4種建設発生土、変化率L=1.3					M0001
	m ³	60			第 1号表 数量コードZ10
-- 排水構造物工					
	式	1			
--- 作業土工					
	式	1			
---- 床掘り					
	m ³	60			SP 2号表 数量コードME
---- 埋戻し(購入土)					M0002
	m ³	20			第 2号表 数量コードR

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋戻し（在来土）	m ³	1			SP 4号表 数量コードr
--- 管渠工	式	1			
---- 鉄筋コンクリート台付管	m	17			φ400 SP 5号表 数量コードDK4
---- 鉄筋コンクリート台付管	m	5			φ300 SP 6号表 数量コードDK3
---- 止壁1	箇所	1			第 3号表 M0011
---- 止壁2	箇所	1			第 4号表 M0012
--- 場所打水路工	式	1			
---- 現場打水路	m	5			第 5号表 数量コードGS M0004
---- 水路復旧	m	10			第 7号表 数量コードSH M0009

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 集水桝					M0010
	箇所	1			第 8号表
---- 現場打ち水路 (本体)					取合水路1
	m	1			SP 16号表 数量コードS1
---- 現場打ち水路 (本体)					取合水路2
	m	1			SP 16号表 数量コードS2
---- 現場打ち水路 (本体)					取合水路3
	m	4			SP 17号表 数量コードS3
--- アスファルト舗装工					
	式	1			
---- 下層路盤 (車道・路肩部)					
	m ²	50			SP 18号表 数量コードK
---- 上層路盤 (車道・路肩部)					
	m ²	66			SP 19号表 数量コードJ
---- 不陸整正					
	m ²	44			SP 20号表 数量コードF
---- 表層 (車道・路肩部)					本舗装
	m ²	160			SP 21号表 数量コードAS

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 表層（車道・路肩部）	m ²	47			仮舗装 SP 22号表 数量コードKKH0
--- 防止柵工	式	1			
---- 転落防止柵設置	m	10			第 10号表 数量コードTB M0003
-- 構造物撤去工	式	1			
--- 構造物取壊し工	式	1			
---- 構造物とりこわし	m ³	4			有筋 第 12号表 数量コードYCG M0006
---- コンクリート殻運搬・処分 鉄筋構造物	m ³	4			第 13号表 数量コードYCG
---- 構造物とりこわし	m ³	4			無筋 第 14号表 数量コードMCG M0005
---- コンクリート殻運搬処分 無筋構造物	m ³	4			第 15号表 数量コードMCG

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 舗装版破碎	m ²	202			SP 25号表 数量コードAST M0007
---- アスファルト殻運搬・処分	m ³	10			第 16号表 数量コードASG
---- 舗装版切断	m	61			アスファルト切断 SP 27号表 数量コードASC M0008
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処分	式	1			第 17号表
---- 舗装版切断	m	10			コンクリート切断 SP 28号表 数量コードSH
---- 防護柵（横断・転落防止柵）撤去工 プレキャストC oブロック建込 B・P式	m	10			第 20号表 数量コードTBT
---- 掘削	m ³	3			水路浚渫 SP 29号表 数量コードSY
-- 仮設工	式	1			
--- 水替工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 締切排水工 0-120m3/h未満 作業時排水 全揚程15m	式	1			第 21号表
---- 大型土のう設置・撤去	袋	2			第 27号表 数量コード0D
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			2人/日 第 31号表
---- 交通誘導警備員	式	1			4人/日 第 32号表
直接工事費計					
工種区分 No. 4 道路改良工事					
共通仮設費 (一般交通影響有り (2) - 2)	式	1			
共通仮設費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響有り(2)-2)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

水路工			数 量 調 整 表			数量調整表優先		
名 称		コード		計 算 式				
現場打水路	G S	(0 2)	=	4. 5				
			=	4. 500				
							
台付管 φ 400	D K 4	(0 2)	=	8 + 9				
			=	17. 000				
							
台付管 φ 300	D K 3	(0 2)	=	4. 5				
			=	4. 500				
							
水路復旧	S H	(0 2)	=	5. 5 + 4. 0				
			=	9. 500				
							
取合水路1	S 1	(0 2)	=	1. 0				
			=	1. 000				
							
取合水路2	S 2	(0 2)	=	1. 0				
			=	1. 000				
							
取合水路3	S 3	(0 2)	=	3. 5				

水路工		
数量調整表		
数量調整表優先		
名 称	コード	計 算 式
取合水路3	S 3 (0 2)	= 3. 5 0 0

舗装工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
下層（現場打水路）	K G （ 1 1 ）	= GS * 2.30 = 4.5 * 2.30 = 10.350			
下層（台付管φ400）	K D （ 1 1 ）	= DK4 * 1.9 = 17 * 1.9 = 32.300			
下層（台付管φ300）	K d （ 1 1 ）	= DK3 * 0.94 = 4.5 * 0.94 = 4.230			
下層（取合水路3）	K 3 （ 1 1 ）	= S3 * 1.0 = 3.5 * 1.0 = 3.500			
下層路盤総数	K （ 1 1 ）	= KD + Kd + KG + K3 = 32.3 + 4.23 + 10.35 + 3.5 = 50.380			

舗装工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
上層（現場打水路）	J G （ 1 1 ）	= GS * 2.9 = 4.5 * 2.9 = 13.050	
上層（台付管φ400）	J D （ 1 1 ）	= DK4 * 2.5 = 17 * 2.5 = 42.500	
上層（台付管φ300）	J d （ 1 1 ）	= DK3 * 1.54 = 4.5 * 1.54 = 6.930	
上層（取合水路3）	J 3 （ 1 1 ）	= S3 * 1.0 = 3.5 * 1.0 = 3.500	
上層路盤総数	J （ 1 1 ）	= JD + Jd + JG + J3 = 42.5 + 6.93 + 13.05 + 3.5 = 65.980	

舗装工		
数量調整表		
数量調整表優先		
名 称	コード	計 算 式
表層工	A S (1 1)	$\begin{aligned} &= 160 \\ &= 160,000 \\ &\text{-----} \end{aligned}$
不陸整正	F (1 1)	$\begin{aligned} &= AS - K - J \\ &= 160 - 50,38 - 65,98 \\ &= 43,640 \\ &\text{-----} \end{aligned}$
仮舗装	K H O (1 1)	$\begin{aligned} &= KG + KD + Kd \\ &= 10,35 + 32,3 + 4,23 \\ &= 46,880 \end{aligned}$

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
転落防止柵	T B (0 2)	<div>= 5.5 + 4.0</div> <div>= 9.500</div>	

土工 (床掘)			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
現場打水路	ME G (06)	= GS * 4.2		
		= 4.5 * 4.2		
		= 18.900		
			
台付管 φ400	ME D (06)	= DK4 * 1.6		
		= 17 * 1.6		
		= 27.200		
			
台付管 φ300	ME d (06)	= DK3 * 0.9		
		= 4.5 * 0.9		
		= 4.050		
			
取合水路1	ME 1 (06)	= S1 * 1.3		
		= 1 * 1.3		
		= 1.300		
			
取合水路2	ME 2 (06)	= S2 * 1.1		
		= 1 * 1.1		
		= 1.100		

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
取合水路3	ME 3 (06)	$\begin{aligned} &= S3 * 1.3 \\ &= 3.5 * 1.3 \\ &= 4.550 \end{aligned}$	
床掘総量	ME (06)	$\begin{aligned} &= ME1 + ME2 + ME3 + MED + MEd + MEG \\ &= 1.3 + 1.1 + 4.55 + 27.2 + 4.05 + 18.9 \\ &= 57.100 \end{aligned}$	

土工（埋戻し【購入土】）

数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
現場打水路	R G (0 6)	<div><div>= GS * 1.4</div><div>= 4.5 * 1.4</div><div>= 6.300</div><div>.....</div></div>
台付管φ400	R D (0 6)	<div><div>= DK4 * 0.5</div><div>= 17 * 0.5</div><div>= 8.500</div><div>.....</div></div>
台付管φ300	R d (0 6)	<div><div>= DK3 * 0.3</div><div>= 4.5 * 0.3</div><div>= 1.350</div><div>.....</div></div>
取合水路1	R 1 (0 6)	<div><div>= S1 * 0.6</div><div>= 1 * 0.6</div><div>= 0.600</div><div>.....</div></div>
取合水路2	R 2 (0 6)	<div><div>= S2 * 0.5</div><div>= 1 * 0.5</div><div>= 0.500</div><div>.....</div></div>

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
取合水路3	R 3 (0 6)	$\begin{aligned} &= S3 * 0.7 \\ &= 3.5 * 0.7 \\ &= 2.450 \end{aligned}$ <div>.....</div>	
埋戻し【購入土】総量	R (0 6)	$\begin{aligned} &= R1 + R2 + R3 + RD + Rd + RG \\ &= 0.6 + 0.5 + 2.45 + 8.5 + 1.35 + 6.3 \\ &= 19.700 \end{aligned}$	

土工（埋戻し【在来土】）			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
取合水路1	r 1 (0 6)	<div>= S1 * 0.6</div> <div>= 1 * 0.6</div> <div>= 0.600</div> <div>.....</div>		
取合水路2	r 2 (0 6)	<div>= S2 * 0.3</div> <div>= 1 * 0.3</div> <div>= 0.300</div> <div>.....</div>		
埋戻し【在来土】総量	r (0 6)	<div>= r1 + r2</div> <div>= 0.6 + 0.3</div> <div>= 0.900</div>		

撤去工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
有筋コンクリート殻	Y C G (0 2)	$= 1.1 + 1.7 + 0.80 + 0.32 + 0.04 + 0.07$ $= 4.030$
無筋コンクリート殻	M C G (0 2)	$= 0.82 + 0.58 + 0.38 + 2.67$ $= 4.450$
アスファルト舗装版	A S T (0 2)	$= 155 + KH0$ $= 155 + 46.88$ $= 201.880$
アスファルト殻	A S G (0 2)	$= AST * 0.05$ $= 201.88 * 0.05$ $= 10.090$
アスファルト切断	A S C (0 3)	$= 61$ $= 61.000$
アスファルト汚泥	A S O (0 3)	$= 0.023 * 0.05 * ASC$ $= 0.023 * 0.05 * 61$

撤去工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
アスファルト汚泥	A S O (0 3)	= 0.070	
		
水路浚渫	S Y (0 6)	= 2.50	
		= 2.500	
		
転落防止柵	T B T (0 2)	= 5.5 + 4.0	
		= 9.500	

仮設工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
大型土のう	OD (02)	= 2 = 2.000	

土工 土 量 調 整 表			
発生土登録表 発生土 変化率	**（発生土→埋戻土→盛土）流用表** 発生土 - - - - 流用順位 - - - -	**残土処理場指定表** 発生土 処理順位	**残土処理容量指定**
ME 57 0.90	ME 1 番目 r 機械 57 → 1	ME 1 番目 Z10 57 → 56	Z10 99,999
SY 3 0.90		SY 1 番目 Z10 3 → 3	
	盛土内訳指定表 盛 土 流用土 不足土 r R99 F99 1 = 1 + 0		**残土量合計** Z10 59

MOOO1					
残土運搬処理 第4種建設発生土、 変化率L=1.3					
第 1号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	m3	100			SP 1号表
残土処分費 (有)大石建材 牧之原市静谷字 松ヶ沢平2588番1 他26筆	m3	130			
計					
単価	m3				

M O O O 2		埋戻し (購入土)				第 2号表	
金 円		100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
埋戻し		m3	100			SP 3号表	
路床材 再生盛土材		m3	126				
計							
単価		m3					

MOO11

止壁1

第 3号表

金 円		1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m3	0.1			SP 7号表
型枠		m2	2			SP 8号表
計						

MOO12					
止壁2					
第 4号表					
金 円 1 箇所当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
コンクリート					
		m3	0.1		SP 7号表
型枠					
		m2	2.1		SP 8号表
計					

M O O O 4 現場打水路					
第 5号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁	m 3	9. 7			SP 9号表
コンクリート	m 3	1. 8			床版 SP 10号表
鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD345 一般構造物, 一般構造物 (補正無)	t	0. 2			市場単価を適用 (材料を含む), 10t未満 第 6号表
JSフォーム W1150×L1000	枚	10			
コンクリート	m 3	1			床張 SP 11号表
計					
単価	m				

鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD345 一般構造物, 一般構造物 (補正無) 金 円 1 t 当り 市場単価を適用 (材料を含む), 10t未満					
第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
異形棒鋼 SD345 D13	t	1.03			
鉄筋工 (鉄筋加工・組立) 一般構造物	t	1			1 市場単価 (基準額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)	X				
(加算率: S1) 施工規模	%				
補正後市場単価	t	1			
諸雑費	式	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

M O O O 9		水路復旧		第 7号表		
金	円	10 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m3	2. 8			SP 12号表
型枠		m2	16. 8			SP 8号表
計						
単価		m				

MOO10 集水樹					
第 8号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場打ち集水樹・街渠樹（本体）	箇所	1			SP 13号表
鉄筋 異形棒銅 D13mm規格品SD345 一般構造物，一般構造物（補正無）	t	0.01			市場単価を適用（材料を含む），10t未満 第 6号表
排水構造物 蓋版 据付け 蓋版（各種）	枚	1			第 9号表
コンクリート	m3	0.2			SP 14号表
型枠	m2	0.6			SP 15号表
計					

排水構造物 蓋版 据付け
蓋版 (各種) 第 9号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 屋間単価 時間的制約 無 ｺﾝｸﾘｰﾄ製・鋼製 40を超え170kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)	X				
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
諸雑費	式	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

M O O O 3					
転落防止柵設置					
第 10号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工 プレキャストC o プロック建込 B・P式	m	10			第 11号表
転落防止柵 塗装品 縦格子型 独立基礎用	m	10			
計					
単価	m				

防護柵（横断・転落防止柵）設置工 ブレキャストC oブロック建込 B・P式					
第 11号表					
金	円	1 m 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
横断転落防止柵設置工（ブレキャストC Oブロック建込） ビーム式・パネル式、支柱間隔3.0m					1
	m	1			市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔加算率：S〕 施工規模：100m未満	%				
補正後市場単価	m	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

構造物とりこわし					
第 12号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MOOO6

コンクリート設運搬・処分
鉄筋構造物

第 13号表

金 円 10 m3 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
設運搬	m3	10			SP 23号表
処分費（鉄筋構造物） （株）大塚 沼伏プラント 島田市阪本字中原2581-2	m3	10			
計					
単価	m3				

構造物とりこわし					
第 14号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MOOO7					
アスファルト殻運搬・処分					
第 16号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	m3	10			SP 26号表
アスファルト殻処分費 セイエン商事(株) 藤枝工場 藤枝市稲川字大下891-2	m3	10			
計					
単価	m3				

M O O O 8					
アスファルトカッター汚泥運搬・処分					
第 17号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：23.3km以下	台	1			第 18号表
汚泥処分費 マーセリサイクル(株) 麻機工場 静岡市葵区北2242-129	m3	0.1			数量コードAS0
計					

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 23.3 km以下
第 18号表

金 円 1 台 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

トラック運転 2t積					
第 19号表					
金 円 1 時間 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)	人				
軽油 パトロール給油	リ				
トラック [普通型] 2t積	時間				
諸雑費	式	1			
計					

防護柵（横断・転落防止柵）撤去工 プレキャストC oブロック建込 B・P式						第 20号表	
金	円	1 m 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
横断転落防止柵撤去（プレキャストC Oブロック建込） ビーム式・パネル式、支柱間隔3.0m			m	1			1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕			X				
補正後市場単価			m	1			
諸雑費			式	1			
計（合計金額対象外は除く）							

締切排水工
0-120m3/h未満 作業時排水 全揚程15m

第 21号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ運転 0-120m3/h未満、作業時排水、全揚程15m	日	18			第 22号表
ポンプ設置撤去費 1 締切現場	箇所	1			第 25号表
計					

ポンプ運転
0-120m3/h未満、作業時排水、全揚程15m

第 22号表

金 円 1 日 当 り					
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				1
潜水ポンプ 運転 口径200mm 揚程15m					1
発動発電機 運転 ディーゼルエンジン駆動 60kVA 排出ガス対策型（第3次基準値）	台				第 23号表
	日				1 第 24号表
諸雑費	%				
計					

潜水ポンプ 運転 口径200mm 揚程15m					
第 23号表					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水中ポンプ 賃料 口径 200mm 揚程 15m					
	供用日				
諸雑費					
	式	1			
計					

発動発電機 運転
ディーゼルエンジン駆動 60kVA 排出ガス対策型(第3次基準値)

第 24号表

金 円 1 日 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
軽油 バトロール給油		l			
ディーゼル発動発電機(排ガス対策型も同じ) 出力60kVA 防音型		供用日			
諸雑費		式	1		
計					

ポンプ設置撤去費 1 締切現場						第 25号表
金	円	1 箇所 当り	配管布設撤去労務を含む			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ 運転 クローラ型クレーン付・超低騒音型・山積0.8 (平積0.6) m3・2.9 t吊 排出ガス対策型 (2014年規制)	日				第 26号表	
諸 雑 費	式	1				
計						

バックホウ 運転 クローラ型クレーン付・超低騒音型・山積0.8(平積0.6)m ³ ・2.9t吊 排出ガス対策型(2014年規制)					
第 26号表					
金	円	1 日 当り			
積	算	項	目	単位	数量
運転手(特殊)				人	
軽油 パトロール給油				l	
バックホウ(クローラ式)(クレーン付)(排ガス対策型も同じ) 山積0.8m ³ (平積0.6)(吊能力2.9t)				供用日	
諸雑費				式	1
計					

MOO14		大型土のう設置・撤去				第 27号表
金	円	10 袋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
大型土のう製作・設置 作業半径 5 m 以下 - 3 m 未満又は 2 m 超		袋	10			第 28号表
大型土のう撤去 作業半径 6 m 以下 - 3 m 未満又は 2 m 超		袋	10			第 30号表
計						
単価		袋				

大型土のう製作・設置 作業半径5m以下 - 3m未満又は2m超					
第 28号表					
金	円	10 袋 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
大型土のう袋 土砂 1.0m ³ 用	袋	10			
土砂 購入土 (山土)	m ³	10			
バックホウ 運転 クローラ型クレーン付・後方超小旋回・超低騒音 (山積0.45 (平積0.35)m ³) 排出ガス対策型 (2014年規制)	日				第 29号表
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊	日				
諸雑費	%				

第 28号表

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計					
単価	代				

バックホウ 運転 クローラ型クレーン付・後方超小旋回・超低騒音（山積0.45（平積0.35）m ³ ） 排出ガス対策型（2014年規制）					
金 円 1 日 当 り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）	人				
軽油 パトロール給油	l				
バックホウ（クローラ型）後方超小旋回型・クレーン機能付 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t	供用日				
諸雑費	式	1			
計					

大型土のう撤去 作業半径6m以下 - 3m未満又は2m超 第 30号表					
金	円	10 袋 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
特殊作業員					1
	人				
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊					
	日				
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	袋				

交通誘導警備員

第 31号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	58		29日、2人
計					

交通誘導警備員

第 32号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	12		3日、4人
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積 0. 2 8 m 3 （平積 0. 2 m 3），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D I D 区間の有無＝無し，運搬距離＝1 9. 0 k m 以下	SP 1 号表
床掘り	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模） ＊土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 2 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 3 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 4 号表
鉄筋コンクリート台付管	作業区分＝据付，管径＝4 5 0 m m （3 5 0 - 5 0 0 m m） ＊鉄筋コンクリート台付管	SP 5 号表
鉄筋コンクリート台付管	作業区分＝据付，管径＝3 0 0 m m （2 0 0 - 3 0 0 m m） ＊鉄筋コンクリート台付管	SP 6 号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B W / C 6 0 % 以下	SP 7 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝小型構造物	SP 8 号表
小型擁壁	擁壁平均高さ＝0. 8 m 以上 1. 0 m 以下，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，基礎碎石の有無＝無し，均しコンクリートの有無＝有り，養生工の種類＝一般養生・特殊養生（練炭）	SP 9 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
小型擁壁	&コンクリート規格＝18 - 8 - 40 - BB W/C 60%以下	SP 9号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝24 - 12 - 25 (20) - BB W/C 55%以下	SP 10号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18 - 8 - 25 (20) - BB W/C 60%以下	SP 11号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝バックホウ（クレーン機能付）打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生 &コンクリート規格＝18 - 8 - 25 (20) - BB W/C 60%以下	SP 12号表
現場打ち集水柵・街渠柵（本体）	コンクリート＝コンクリート規格 選択，1箇所当りコンクリート使用量＝0.87m3を超え0.92m3以下，コンクリート打設工法＝人力打設，養生工の種類＝一般養生・特殊養生（練炭） &コンクリート規格＝18 - 8 - 40 - BB W/C 60%以下	SP 13号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝バックホウ（クレーン機能付）打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝養生無し &コンクリート規格＝18 - 8 - 25 (20) - BB	SP 14号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝均しコンクリート	SP 15号表
現場打ち水路（本体）	コンクリート＝コンクリート規格 選択，鉄筋の有無＝無し，10m当りコンクリート使用量＝4.8m3／10mを超え5.2m3／10m以下，コンクリート打設工法＝人力打設，養生工の種類＝一般養生	SP 16号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表




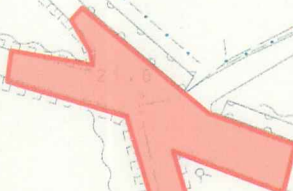




名 称	内 容	
現場打ち水路 (本体)	&コンクリート規格=18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	SP 16号表
現場打ち水路 (本体)	コンクリート=コンクリート規格 選択, 鉄筋の有無=無し, 10m当りコンクリート使用量=4.5m ³ /10mを超え4.8m ³ /10m以下, コンクリート打設工法=人力打設, 養生工の種類=一般養生 &コンクリート規格=18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	SP 17号表
下層路盤 (車道・路肩部)	施工区分=2層施工, 材料=路盤材 選択 *全仕上り厚=250mm, &路盤材規格=再生下層路盤材 40-0	SP 18号表
上層路盤 (車道・路肩部)	材料=粒度調整砕石 選択, 施工区分=1層施工 *全仕上り厚=150mm, &路盤材規格=粒度調整砕石 (M-30)	SP 19号表
不陸整正	補足材料の有無=有り, 補足材料平均厚さ=28mm以上34mm未満, 補足材料=補足材 選択 &補足材料規格=粒度調整砕石 M-30	SP 20号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員=3.0m超, 材料=密粒度アスコン 選択, 瀝青材料種類=プライムコート 選択 &アスコン規格=再生密粒度アスコン (13) A配合, *1層当り平均仕上り厚=50mm, &瀝青材料規格=プライムコート PK-3	SP 21号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員=1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下), 材料=密粒度アスコン 選択, 瀝青材料種類=無し &アスコン規格=再生密粒度アスコン (13) A配合, *1層当り平均仕上り厚=30mm	SP 22号表
殻運搬	殻発生作業=コンクリート (鉄筋) 構造物とりこわし, 積込工法区分=機械積込, DID区間の有無=無し, 運搬距離 (km)=8.0km以下	SP 23号表
殻運搬	殻発生作業=コンクリート (無筋) 構造物とりこわし, 積込工法区分=機械積込, DID区間の有無=有り, 運搬距離 (km)=	SP 24号表

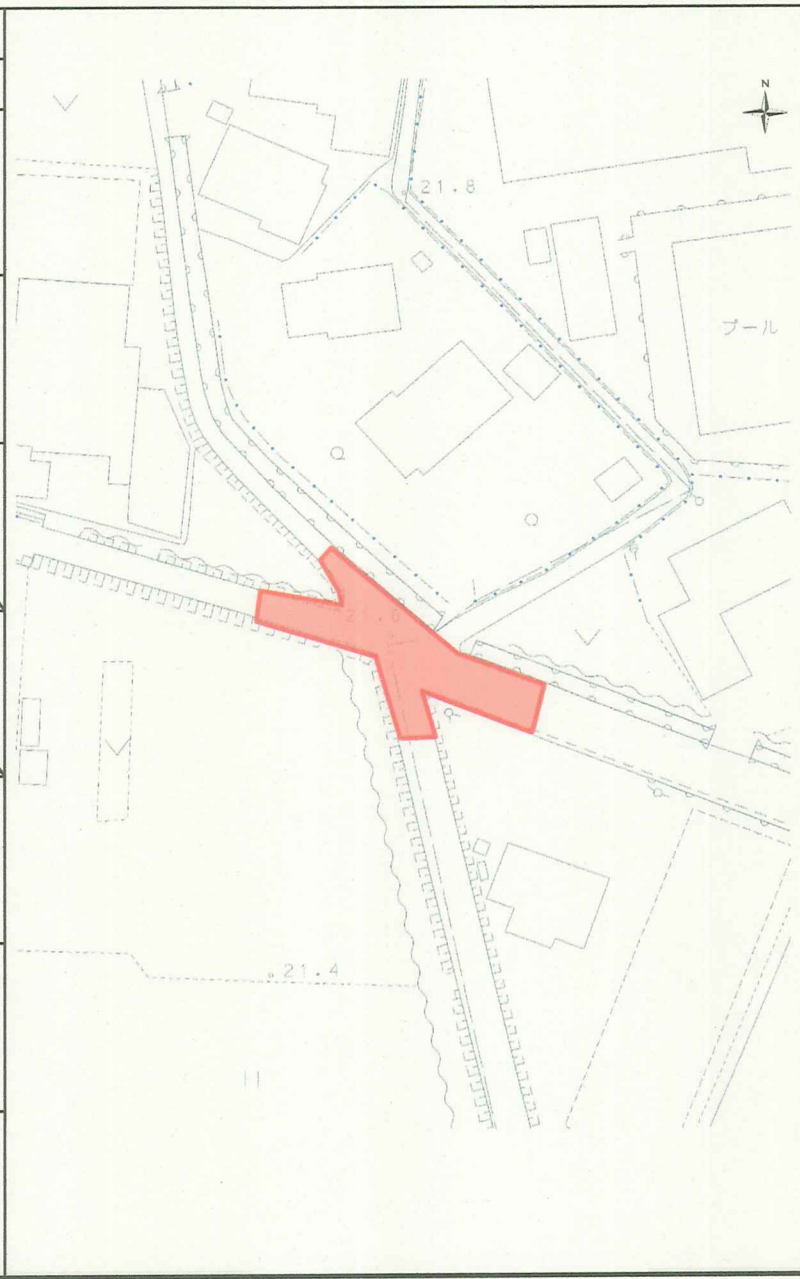
施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
殻運搬	3. 3 k m以下	SP 2 4 号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝1 5 c m以下，積込作業の有無＝有り	SP 2 5 号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚1 5 c m以下），D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝6. 0 k m以下	SP 2 6 号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝1 5 c m以下	SP 2 7 号表
舗装版切断	舗装版種別＝コンクリート舗装版，コンクリート舗装版厚＝1 5 c m以下	SP 2 8 号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準以外 ＊土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 2 9 号表

地下埋設物調書

(令和 7 年度 (債務) 大洲五丁目地内水路改修工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	D(A)Φ200	無し	給水管(GΦ50)		上水道課 額縁
ガス管	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				東海ガス 増田
大井川広域水道企業団	事業管内図により、埋設管がないことを確認した。				
大井川土地改良区	事業管内図により、埋設管がないことを確認した。				
N T T ケーブル	事業管内図により、埋設管がないことを確認した。				NTT西日本
中部電力 ケーブル	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				中部電力 パワーグリッド
下水道管	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				下水道課 木村



障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

藤枝市週休2日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第1条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が28.5%以上の場合を4週8休以上とする。
- (4) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休2日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休2日 対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

（費用の計上）

第3条 週休2日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休2日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第4条 週休2日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日